

医工学セミナー

# 集え!

日本の医療機器  
イノベーションの担い手たち

会場 加齢研研究棟7階、セミナー室①

11月25日(金)

18:00~

「Behavioral Health ; ビヘイビアヘルス」

講演者：浦島 充佳 東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部 教授

「ビヘイビアヘルス」という日本では聞きなれない言葉。

クリニックや病院にかかる前に日々の生活における行動パターンを変え、病気の発生を予防し、健康を維持するという考え方でハーバード大学が提唱しているものです。たとえば、社会変化が大きい現代では、座り姿勢で生活する時間が長くなり、筋力を使わない人が多くなっています。日本人の死因の16%が運動不足が影響という衝撃的な事実。高齢社会を迎える我々は、ビヘイビアヘルスをどう考えるか。是非、このセミナーで答えを見つけてください。もちろん、IoTや人工知能AIを含めて医療ビジネスにとりこんでいるみなさまにとっても行動変容の考え方の一つとして示唆をいただけるものと思います。

Profile ~Mitsuyoshi Urashima~



小学6年のときに広島の原爆に関する記録映画を観、その後被曝した子どもに白血病が増えたことを知り、医師になることを目指す。1986年慈恵医大卒業後、附属病院において白血病や骨髄移植を中心とした小児がん医療に献身。1993年医学博士。世界で最初に小児白血病を抗がん剤で治したハーバード大学ダナファーバー癌研究所に1994年～1997年留学。治療より予防が重要という医の原点に立ち返り、1999～2000年ハーバード大学大学院に2度目の留学をする。公衆衛生修士取得。2001年、911米国同時多発テロに強い衝撃を受け、医師として大勢の尊い命を守るべく活動するようになる。専門：小児科、疫学、統計学、がん、感染症。現在ビタミンDの二重盲検ランダム化プラセボ比較試験にフォーカスをあてている。平成26年より、食物アレルギー発症予防のためのランダム化臨床試験も開始した。またパンデミック、災害医療をも含めたグローバル・ヘルス分野を目指す若手育成にも注力している。2013年より現職。愛知県安城生まれ、東京育ち、剣道3段、東京マラソン5回完走

著書 「放射能汚染 ほんとうの影響を考える」化学同人 「パンデミックを阻止せよ」化学同人 など

【主 催】地域イノベーション戦略支援プログラム「知と医療機器創生宮城県エリア」  
人材育成プログラム代表者 医工学研究科教授 出江 紳一

東北大学  
加齢医学研究所

【共 催】分野横断型医工学連携プラットフォームBASIC  
【後 援】東北大学大学院医工学研究科

